

58

■藤の花と美を競うオオルリ

つきみず 月不見の池 (糸魚川市)

■環境：森林、湖沼
 ■対象：一般
 ■期間：5月中旬～6月上旬

月不見の池は藤の名所としても知られているが、湖畔にそそり立つ奇岩怪石の景観もすばらしい。オオルリの声が一際、心をゆする。

<駐車場から池周辺の森を望む>

月不見の池周辺を代表する植物はコナラの群落や杉の植林である。駐車場から池まで杉の木立の中を歩くと、こずえでさえずるカワラヒワ、林の中で騒々しく鳴くヒヨドリに出会う。近くの畑で鳴くモズやムクドリの声も聞こえてくる。時にはアオゲラ、アカゲラ、コゲラなどキツツキの仲間を間近に見ることもできる。

<池の周辺部で見られる鳥>

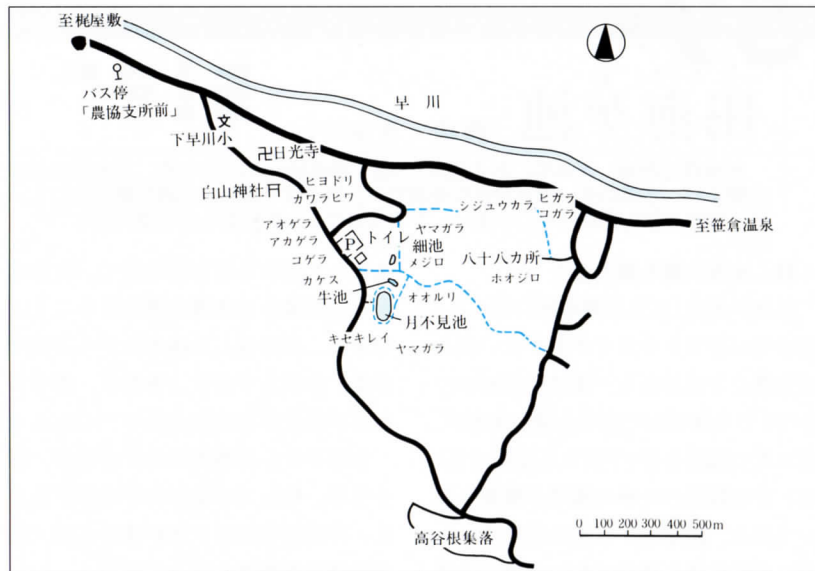
池を巡る道は巨大な岩の間をぬうよ

うに続く起伏に富んだ道で険しいが、さまざまな野鳥のさえずりが心を和ませてくれる。池にはいつもキセキレイの姿があり、カワセミもしばしばこの池を訪れる。周辺の林の中では、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、それにさえずりの美しいオオルリ、ウグイス、キビタキが互いに競うかのように鳴く。イカル、メジロが負けじと鳴き、頭上を「ヒリヒリ」と鳴きながらサンショウクイが飛ぶ。

林の中には、下早川小学校の子ども



月不見の池と杉林



たちがかけた巣箱がたくさんあり、利用されているものも多いようである。そのせいかシジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、コガラ等のカラ類が多いようである。

キジバト、カケス、ホオジロ、スズメ等常連を加え、22科48種が観察されている。

<池の上空を横切る野鳥>

ハシブトガラス、ハシボソガラスはもちろんのこと、トビ、サシバ、ハチクマ、ノスリ等のワシ・タカの仲間も時々観察されている。

月不見の池から更に奥に入った高谷根では、イヌワシの若鳥がねぐらをとっていたこともあり、オオタカ、ハチ

クマ、ノスリ等の猛禽類の姿をしばしば観察できる。

(鷲沢澄雄)

メモ

交通 JR糸魚川駅下車、バス糸魚川駅前発「早川線農協前」(所要時間25分)下車、徒歩15分。または糸魚川駅よりタクシー25分。

☐ 池の手前(徒歩3分)に駐車場があり、30台ほど駐車可能。

駐車場の隣に最近トイレが設置された。

探鳥会 地元の下早川小学校は愛鳥モデル校として知られており、二十数年前より月不見の池、細池周辺の探鳥会を実施し、巣箱をつけるなど保護活動も行っている。